

その他の教育研究業における階段、栈橋を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	15～ 16	児童のお迎え後、施設2階のトイレを使用中、玄関チャイムが鳴った為、焦って階段を下りたところ、下から二段目で踏み外し、右足の小指を下にして、ねじれたような形で足を着いてしまった。痛みあり様子をみたが、痛みが引かず、後日に骨折と診断された。	53	—
1	12～ 13	園内の2階から1階へ下りる階段で給食の片付けの為、お盆に食器などをのせ降りていたところ、足を滑らせ転倒し右足首を捻挫した。	42	10～ 29
3	17～18	大学4号館3階から荷物を持って階段を下りようとしたとき、靴が階段のすべり止めに引っ掛かり、足を踏み外し、4～5段下に滑り落ち、左足首を骨折した。	42	100 ～ 299
4	15～ 16	当社の本館3階にて会議後帰路に就くため階段を下りていたところ、2階フロアまで残り3段目のところで足を踏み外して転倒し、右膝及び右肩を打撲し、両膝を擦傷した。	51	50～ 99
4	9～ 10	階段において、園児が階段の柵に足をかけていたので、注意する為、急いで階段を上った時、右足首を捻って転び階段に右手を着いてしまい、右足首と右手小指を負傷する。	30	30～ 49
4	21～ 22	閉館後、帰宅のため図書館敷地より退出した後に忘れ物に気付き、取りに戻るため通用口から中へ入った。照明が暗く階段を2～3段ふみ外し、前向けにコンクリートに転倒し、右手首と左足かかとを骨折し、頭部前面と顔面を強打した。	67	10～ 29
4	8～9	出社の際、屋上の駐車場に到着し勤務先教室に向かう為、社員用通路の階段を使用して4階から1階まで下る途中、1階と2階の間の踊り場から1段下りる時に誤って右足を踏み外して転倒し、13段転がり落ちて右肩・顔面・前歯・左すねに怪我	29	1～9

		をする。		
5	9～10	左手に書類を持ち、階段を2階から1階へ降りる際に左足が引っ掛かり躓き、階段を踏み外して、階段の踊り場まで転落した。	43	300～499
7	16～17	終業後帰宅の際、2Fから1Fへ階段を下っていた際右足がパンツに引っかかり転倒した。（当時の服装はマキシ丈ガウチョパンツ姿であり右側パンツの裾に引っかった）	40	300～499
7	19～20	会社の車庫でトラックの荷台の製品の巻取をテコ棒を使用して練習していた時、製品と製品の間に足が挟まって左膝を負傷した。	60	50～99
7	17～18	自船の入港作業中、舟尾付けのため船尾甲板にタラップを用意し、岸壁から船尾が1m位の所でタラップを岸壁に掛けようとしたが潮が引いていて高さが合わなかった。甲板員に岸壁へ移ってもらうため、タラップの船側を押さえていたところ甲板員がタラップに乗った際、バランスを崩し、タラップが跳ね上がり、その反動で甲板に左肩を強打した。	66	30～49
7	9～10	当日強い雨で自宅から電車で駅迄電車で行き、いつもならそこから学校近くまで行くのだが、試験準備日でもあり荷物も多く、バスが遅れていたためタクシーを拾い学校まで行った。構内で下車したとき、雨で濡れていた階段で滑り転倒、腰を強打し、動けなかった。	65	500～999
7	12～13	もともと右足を捻挫しており、また児童と手を繋いで階段を下りていたため、バランスを崩し、踊り場に着地するときに左足を捻った。	50	1～9
9	9～10	施設内4階から3階へ階段を急いで降りていたところ、足を踏み外して7段程落下踊り場に落ち、骨折した。	65	100～299
11	13～14	作業現場であるグループホーム内食堂にて、脚立を使用して天井面へ器具付けを行った。移動の為に脚立から降りて歩き出した際に、右膝に強い痛みを感じた。強い痛みはすぐに治まり、軽い痛みは残っていたが歩行等にも支障がなかったため、しばらくすれば治ると思い様子を見ていた。しかし、一向に治らなかったた	25	10～29

		め受診したところ、右膝前十字靱帯損傷及び右膝半月板損傷と診断された。		
11	13～ 14	体育館入口の清掃を児童と行っていた際に、砂を集めた塵取りを持って三段下の土の上に捨てるため、階段を下りていたところ、1年生の女子児童が後ろ手に持っていたほうきの柄に右足は跨げたが、左足が引っ掛かり転倒した。そのまま階段を三段転げ落ち、左足を骨折した。	59	30～ 49
12	9～10	建物内3階階段で、隣の建物にある郵便箱に書類を提出するのに、回収時間間近だったことから急いでいた。下から人が上がってくる音がしたので、手すりから離れ反対側に移動しようとした際、ブーツの踵が階段のへりにひっかかり転んでしまい、すぐ下の踊り場まで10段くらい落ちた。救急車で搬送され、病院の検査で頭部、骨に異常はなく、腰に歩行保護用のコルセットを装着してもらい帰宅した。しばらくは痛みのため起き上がることができず、自宅で安静にしていたが、休み明けも痛みが引かず休業した。	55	1000 ～ 9999

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html